

ラグビーワールドカップ

校長 宮本 順紀

ラグビー日本代表チームとスコットランドチームの試合をご覧になった方も多いと思います。日本代表チームがベスト8をかけた試合だということで、ルールもあまりよくわからないまま私も放送を見ました。結果はご承知かと思いますが、次々とボールをつなぎながらトライする選手たちの姿を、そしてスコットランドチームにトライをさせまいとぶつかっていく選手たちの姿をハラハラしながら観戦し、日本代表チームが強豪のスコットランドチームに勝ってノーサイドになった時、胸が熱くなりました。その後の決勝リーグでは南アフリカチームに負けてしまいましたが、日本代表チームから大きな感動と勇気を与えていただきました。

その翌日、あるシンポジウムに参加し、ある銀行の頭取がラグビー日本チームについて言及しました。ラグビー日本代表チームの目標はワールドカップでベスト8に入ることであったそうです。そしてそれは達成されました。しかし、ラグビー日本代表チームには、ラグビーをするもっと大きな目的があるのだということでした。それは「あらゆる人々や社会の活力になるため、日本ラグビーはどこまでも強くなる努力を続けます。」という理念なのだそうです。その大きな目的があるからこそ目標が達成できたのではないかと話していました。なるほどと思いました。日本ラグビーフットボール協会は、日本ラグビーの強化をとおして、人々を豊かにし、社会の発展に貢献するなど5つのミッションをその理念のもとに定めています。詳しくは日本ラグビーフットボール協会のホームページをご覧くださいと思います。

目的と目標、似た言葉ですが、目標にとらわれて目的を見失ってしまうことがあります。目的を見失うと目標達成に向けたアクションが間違った方向に向かい、場合によっては目的とは異なる形で目標だけが達成されてしまうことが起こります。よく数値目標という言葉を使いますが、数値目標が達成されても周囲からリスペクトされない状況に陥るということがあり、それは目的を忘れてしまっていて、何らかの不正義が数値目標の背景になっており、それを周囲は知っているということかもしれません。仮にその時は称賛を受けても、時間が経過するうちに塗装が剥げてしまうということになるものです。

昨年度全職員で検討を重ね、本校が育てる生徒像をまとめました。そういう生徒を育てることが本校教育活動の大きな目的にあたると思います。

- 1 確かな学力が育まれ、豊かな心と健やかな体が育てられて、進路希望が実現できる生徒
 - 2 規範意識と品性を持ち、安全な社会生活を送りながら、生涯にわたって学び続け、社会の諸課題に対応して社会を生き抜く力を備えた生徒
 - 3 商業科、人間文化科においては、望ましい勤労観、職業観を持ち、社会の発展を担う職業人として必要な資質能力を社会で生かすことができる生徒
- これらを忘れずに、一つ一つの目標を達成していきたいと思います。



筑波銀行ビジネス交流商談会に参加しました



(塩キャラメルピーナッツ味)」を出品させていただきました。

今回は、人間文化科の3年生2名と、商業科1年生3名の5人で参加しました。様々な企業の方にコロッケやシフォンケーキを試食していただき、お話をさせていただきました。その中で、コロッケの改良点なども説明させていただきました。また、様々な企業のブースに向き商品を観察したり、近隣に出店している生徒と交流を持つこともでき、普段ではなかなか体験することができない経験を積むことができました。なお、商談会の様子は、10月10日付けの日本経済新聞web版に、竜ヶ崎二高生とつくば銀行頭取が写っている画像とともに掲載されています。



人間文化科1年生が介護実習を行いました



10月8日(火)～11日(金)、16日(水)～21日(月)にかけて、人間文化科1年生が介護実習を行いました。生徒たちは4班に分かれ、各回10名で2回、高齢者の福祉と介護について学習しました。

牛尾病院、もみじ館、けやきの郷などの協力をいただきました。生徒は慣れない介助にとまどいながらも、熱心に取り組んでいました。

生徒たちは、「高齢者の気持ちに寄り添った対応を心がけた。介助の仕事が重要だということが分かった。」と感想を述べていました。



ライフデザインセミナーを実施しました



10月18日(金)、本校においてライフデザインセミナー「赤ちゃんが学校にやってくる！～いのちと出会う・感じる授業～」を実施しました。授業を受けたのは1年1・2組、2年3・4組の生徒たちです。NPO法人ままとーんの協力により実現しました。

当日は、12名の赤ちゃんがゲストとして「来校」しました。生徒は1クラス3グループに分かれて赤

ちゃんと交流したのち、誕生学アドバイザーを講師に迎え、全員で「誕生学プログラム」を受講しました。

生徒たちは、「出産・子育ての実感が少しわいた」などの感想を述べていました。なお、今回の事業は「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の一環として行われました。



学習指導実践研究協力事業に係る、家庭科の研究授業が行われました



10月23日(水)に、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官と茨城県教育庁学校教育部高校教育課指導主事をお迎えし、文部科学省学習指導実践協力校事業に係る研究授業を行いました。

対象となったのは人間文化科2学年の専門科目「子どもの発達と保育」の授業で、授業担当の下村加緒里教諭による食物アレルギーについての指導のあと、生徒たちは発達段階に応じた幼児食のレシピについてグループで調べて、まとめ、発表しました。調べにはタブレットPCが活用されました。授業の後、教科調査官と指導主事から丁寧なご指導をいただきました。



龍ヶ崎小学校児童対象のミシン体験学習を実施しました



隣接する龍ヶ崎小学校の児童が、10月17日(木)、18日(金)、24日(木)、25日(金)の4日間にわたり、本校に来校し、ミシン体験学習を実施しました。本校3年人間文化科の生徒が小学生に丁寧に指導し、ミシンを使って5年生はエプロン、6年生はナップサックを作ることができました。児童からは「まっすぐ縫うのが難しかった。」などの声がありました。本校生徒からは「教える内容は難しくなかったが、ミシンの使い方を子どもたちに教えてみて、勉強になった。」などの声がありました。

「道徳」・「道徳プラス」および「いばらき教育月間」に係る授業公開(お知らせ)

期 日	令和元年 11 月 18 日 (月)
日 程	13:00 ~ 13:25 受付 (正面玄関)
	13:25 ~ 14:15 公開授業
	1 学年「道徳」(4 階各教室)
	2 学年「道徳プラス」(3 階各教室)
	3 学年 通常授業 (2 階教室等)
申込み	参観を希望される方は、別送「参観申込書」にご記入の上 11 月 8 日 (金) までに FAX にてお知らせください (保護者・教員・地域の方々対象)。
問い合わせ	TEL 0297-62-3078 FAX 0297-62-9850
	※ 担当: 小野 (教務)